
2019年度 第6回

郵博 特別切手コレクション展

第7回ヨーロッパ切手展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

展示団体

ヨーロッパ切手展実行委員会

後援

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

開催日時

2019年10月12日(土) 13:00-17:30

2019年10月13日(日) 10:00-17:30

会場：郵政博物館

香港 ヴィクトリア時代の郵便 (2)

池原 郁夫

香港はイギリスが中国から租借した土地で、その為、郵便制度もイギリス本国に順応していた。これはすでに植民地として、各国を統制していたイギリスとしては、問題が少ない占領地戦略だった。香港には郵便局を設置して1844年にはその機能は実用されていた。

1862年にトーマス・デ・ラ・ルー社製の香港切手が発行された。デザインは他の占領地と似た図案で中央部にヴィクトリア女王の肖像を配していた。ただし、漢字表記が入った初めての英領切手でもある。これらの切手をカバーや横浜消印 (Y 1) や香港消印 (B 6 2)、Treaty Ports 印などを入れて展示してあります。



英国 普通切手 1840-1900年 (6)

中畑 智文

19世紀の英国（イギリス）において発行、使用された普通切手のコレクションです。

ビクトリア女王即位3年目の1840年5月に発行された世界最初の切手「ペニー・ブラック」から崩御半年前の1900年7月の赤・緑2色刷り1シリング（通称「ジュビリーイッシュ」の一枚）までの切手を未使用、使用済とエンタィアでベーシックに網羅し、主要な印刷バラエティーや通信の主役「郵便」の担い手として広範にわたった興味ある使用例を含めて発行順に展開しています。

ビクトリア女王生誕200年の今年、「大英帝国」盛期であった19世紀の美しい女王を描く多彩な英国切手の凹版印刷の気品と凸版印刷の艶やかな魅力をお伝えできれば幸いです。



1867 5 シリング高額切手

カリブ共同体 加盟各国・地域 初期の切手 (3)

吉田 敬

このコレクションは全日展 2014 に企画展示した作品です。同年6月に米国サザビーズで開催されたオークションで10億で落札された英領ギアナ1セント切手の兄弟切手にあたる暫定切手を含むコレクションです。

1856

Provisionals, the 4th issue

Surfaced paper

1856年にロンドンのWaterlow社からの郵便切手の納品が遅れ、郵便局の切手在庫が枯渇する事態が発生すると、現地郵政は暫定切手の発行を計画せざるを得なくなった。

暫定切手の製造は、一番切手 Cotton-Reelsの製造実績をもつ Official Gazette社 (旧社名: Messrs Baum and Dallas of the Gazette) に発注された。

同社では発行している新聞(右図)の貨物到着ニュース欄の挿し絵に使用している帆船の図柄をもとに、その周囲に植民地名等を活字で配列した切手の原図を作成した。

その上で Cotton-Reels 同様、1シート4枚の印刷板を作り、赤紫、ピンクと青の用紙に印刷して、4セント切手を製造した。

しかし、こうして納品されてきた切手も、Cotton-Reelsに比べればましなもの、依然として簡単に偽物が作れそうな粗悪な切手であり、4名の郵便事業職員いずれかのサインを入れて販売せざるを得なかった。



現存一点の4c赤紫未使用



(e)

国内郵便料金用4セント切手

赤紫用紙

八角形カット・未使用

Wight氏が“EDW”とサインし販売



(e)

国内郵便料金用4セント切手

赤紫用紙

フルマージン

Wight氏が“EDW”とサインし販売

Wakenaam局, 1856.-6 “BGW” 消印

1943 MALAY 4C POSTAL CARD (1)

菊地 恵実

本展示は、昭和18年（1943年）の天長節（4/29）より日本占領地マライで発行された正刷葉書を、製造面（エッセイや版タイプ、紙質、シェード違いなど）と、使用面（外国宛や特殊取扱い、現存一点となる葉書の額面部分切り抜きの使用例など）で構成したワンフレームコレクションです。

特に版の研究に力を注ぎ、研究結果を版分類としてまとめ、本年ストックホルムで開催されたSTOCKHOLMIA 2019に出品し、LVを受賞致しました。ひとつの葉書のバラエティの豊富さ、そこから製造、使用された背景などを想像してご覧頂ければ幸いです。



正刷葉書用エッセイ

【コラム】切手コレクションの観覧順序

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

展覧会に展示される切手コレクションは、「展示リーフ」という用紙に整理されて展示されています。この「展示リーフ」は16枚ごとにパネルに収められ、各パネルで矢印の順で展示されています。

従いまして、各パネルにおいて、展示リーフは、上段から下段へ、左から右へと、ご覧ください。

なお、切手コレクションの整理方法には様々なやり方がありますが、この展示方法は、分かりやすさ・コストなどの点で現在最も普及している方法です。日本だけでなく、欧米、アジア、オセアニア、アフリカの各国でも同様の方法が採用されています。

作品をご覧になられてのご質問や切手収集に関するご質問については、場内におります主催者・展示者にお声がけください。

インド土侯国ハイデラバード (5)

佐藤 浩一

ハイデラバードはデカン高原の中央に位置し、経済的にインド最大の藩王国であった。ハイデラバードでは1869年に1番切手を発行しており、今年が150周年になる。

経済的に豊かであったために郵政事業の責任者にはイギリス人を雇い入れ、1番切手から製版をイギリスに依頼したため、近代的なデザインの切手となっている。

1870年に暫定的に不足していた額面の切手を現地で作成したために素朴な印象の切手も含まれ、収集対象として興味深い対象となっている。このコレクションは1番切手から1909年までに発行された切手をオーソドックスに収集したものである。



一番切手 10 枚貼り最大ブロック使用例

民間印刷時代の英領 VICTORIA の切手 1850-1859 (8)

永井 正保

豪州における英領植民地ヴィクトリアでは、1850年の切手発行に際し、英本国に切手の印刷を依頼せず、州都メルボルンの印刷業者が素朴な石版印刷などの手法により切手の製作を行いました。この民間印刷は1859年に植民地政府による印刷が開始されるまで続けました。

本展示では、最初の切手である女王半身像切手（ハーフレンクス（Half Lengths）と通称されています）からエンブレムシリーズまでの民間印刷時代の切手につき、原版別の分類、中間版の再構成、刷色の変化、使用例などを展示します。



英領喜望峰三角切手 (1)

吉田 敬

英領喜望峰は、現在の南アフリカ共和国に含まれる地域です。19世紀中頃に発行された一番シリーズで採用された原画は、世界初の三角切手図案で、切手収集家に人気です。

手持ちのマテリアルを並べただけの作品ですが、世界初の三角切手がどのような切手だったかをお楽しみいただければ幸いです。



1862年 オランダ宛て書状、一番シリーズ 4d ペアと二番シリーズ 1d の混貼り

英領モーリシャス (1)

吉田 敬

ゼネラルコレクションより、英領モーリシャスの初期切手をピックアップしてご紹介いたします。

The Admiral Issue of Canada (カナダ・アドミラル/イシュ) (8) 小林 彰

1910年5月、エドワードVII世が崩御し、ジョージV世が即位。ジョージV世を描く切手が英本国に先駆けて1911年に世界で初めて発行された。

海軍提督正装の肖像からアドミラル・シリーズ(1911~1925)と称される。また、シート形式、コイル形式、シート状コイル形式と切手帳形式がある。

この時代、第一次世界大戦の時期と重なり、多くの熟練工が徴兵されたため、印刷技術が低下した。このため、品質の均一性が保たれず、タイプ分類の多様化を招いた。本作品では各額面とも各型式のタイプ分類を中心に紹介する。

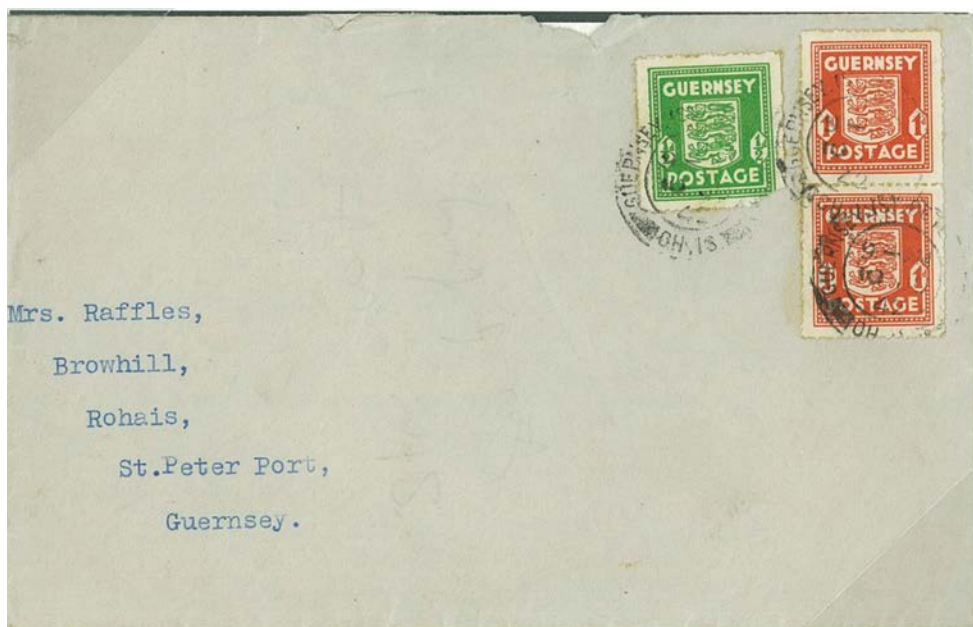


1c 橙, 2c 緑および 3c 紅にはテート・ベッシュ状になっている横2連の切手帳が各7組存在する。また、2c 緑には同切手帳を裁断して横2連のテート・ベッシュとした2組が知られている。展示品はその内の1組。

ドイツ占領下のチャンネル諸島で、英王室側により発行された切手 1940-1945 (1) 吉田 敬

英仏海峡南部のフランス・ノルマンディー沿岸に位置するチャンネル諸島には、英国王室直轄地「ジャージー代官管轄区」と「ガーンジー代官管轄区」があります。この地域は第二次大戦中にドイツ軍により占領された、唯一の英国側領土です。

島内の郵便業務はドイツに接収されなかったため、当初は英国切手がそのまま使用されますが、英本国との間は海上封鎖されており、英本国との郵便は断絶し、また本国郵政からの切手の供給も途切れた後は、ローカル切手が発行されます。これらの切手について、未使用と共に使用例を展示致しました。

Perf. 13 $\frac{3}{4}$ の使用例

英領ヘリゴランド (1)

吉田 敬

北海に浮かぶドイツの小さな島・ヘルゴランド島は、1890年まで英国の領土で、ヴィクトリア女王を描く独自の切手を発行していました。

小さな島であるにも関わらず日本より早い1867年に一番切手を発行しており、郵趣的には面白そう。それにも関わらず、この切手は、英領切手コレクターにもドイツ切手コレクターにも人気がありません。今回の展示では、伝統郵趣コレクションと共にその不人気の理由をご紹介します。



1867 1番切手最大マルチプル貼り書状

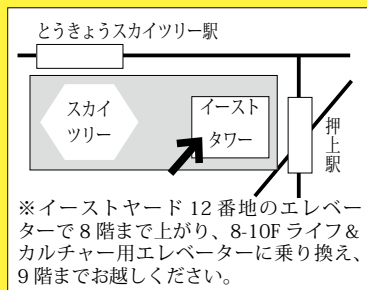
郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

2019年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/19-21	前島密没後 100 年記念展 郵便の父・前島密翁の遺徳を偲び、関連郵趣品や博物館秘蔵の逸品を公開
4/27-5/6	改元記念・皇室関係フィラテリー展 平成の終焉と新元号への移行という節目に臨み、皇室関係の郵趣品を一堂に展示
5/18-19	郵便制度史展 2019 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
6/8-9	南方占領地の第2回フィラテリー展 第二次世界大戦中に日本が南方占領地で発行した切手のコレクション
10/5-6	ステーションナリー展 わが国における「ステーションナリー」の最高峰コレクションが揃い踏み
10/12-13	第7回ヨーロッパ切手展 今年のテーマは「英国・英領」。国内外切手コレクターの力作が並ぶ。
2020年 2/1-2	第3回いずみ展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前10時～午後5時半ですが、初日だけ12時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越しく下さい。



郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階
※イーストヤード12番地のエレベーターで8階まで上がり、8-10Fライフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。

共催 郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

<http://kitte.com>